助成事業名　**大規模災害時における避難行動要支援者に対する避難支援訓練事業**

（まちづくり助成２年目：鵜沼南町自主防災組織）

事業概要　災害時に地域で初動対応できる体制の構築と日頃からの災害弱者に対する支援を継続する。本応募事業では大規模災害時の一時避難に際して避難行動要支援者を実際に搬送できる力量を身に着ける事を目指す。

実施内容

避難支援訓練

開催日時：1 月 11 日（土）10：00-11：00
参加者：11 人（鵜沼南町自主防災組織メンバー、消防団員）
昨年度は消防署職員の指導を仰いだが、今年度は昨年度の指導をもとに、自主防災組織の委員と地域の消防団員で訓練を実施した。
＜訓練内容＞
1．コンパネをリヤカーにセットする。
2．簡易担架を用いて被搬送者を屋外にセットしたリヤカーに載せる。
3．ソフト担架を用いて被搬送者をリヤカーに載せる
今年度は、２人で運ぶのと、後ろからの補助を追加して運ぶのとの両方を試した。
4．毛布と物干竿を組み合わせた担架で被搬送者を屋外にセットしたリヤカーに載せる。

-＊-

事業成果

1．コンパネをリヤカーに載せる事により、被搬送者の脚がリヤカーの外にはみ出して足が地面に着く事がなくなり、安心して運べるようになった。
2．毛布と物干竿の組み合わせで簡単に担架の代替が組み立てられる事を委員間で共有出来た。
3．昨年度の教訓である「ソフト担架を体力のない自主防災組織の高齢の委員で運ぶのは無理である。」と言う点は、搬送ベルトとカラビナをソフト担架に付ける事により解決できた。避難行動要支援者を搬送する必要が出て来た時、体力のある人を頼めない場合、体力のない人でも３～４人いれば搬送が可能であることが確認できた。
4．昨年度から自主防災組織の年間の活動メニューが増えたが、毎年継続する事により定着させれば災害時の大きな力になり得ると考えられる。
5．この活動の経験を市内の他の自主防災組織と共有すれば、災害時の各地域での対応能力を大きく向上させられると考えている。

収支報告　事業費総額　15,301 円　/　助成金交付確定額　4,000 円

助成経費内容　搬送用ベルト、カラビナ、毛布、物干し竿 2 本、コンパネ 1 枚